

江東区 DV相談より

多様化するDV

家族やパートナーとの関係について悩みを抱えていませんか？ジェンダー平等社会の実現を目指す上で、私たちの身近には解決しなければならない問題がまだまだ存在します。実際に起こっていると思われる事例をご紹介します。※内容はフィクションです。

事例1

Aさんは30代の会社員。夫と共働きしながら保育園へ通う子どもを育てています。Aさんと夫は学生時代から交際を始め、社会人になって結婚しました。交際中、夫はさまざまなことで機嫌を損ねたり、Aさんの友人との付き合いを制限したりすることがありましたが、Aさんは「そういうものかな」と受け入れていました。決断力や行動力のある夫はとても頼もしく感じられ、Aさんは対等なパートナーシップの中で家庭と仕事を両立していけるだろうと信じていました。



結婚後、夫の身勝手な振る舞いはエスカレートしていききました。「子育てと家事は分担しよう」と話していたはずなのに、産休や育休を取るAさんに対して「おまえは楽でいいよな」「仕事でクタクタなんだから家にいる時くらいは休ませてくれ」と育児に協力しないどころか、子どもの泣き声や騒ぎ声に対して「静かにさせろ」とAさんや子どもにイライラをぶつけてくるようになり、大きな音を立てて物に当たったり、無視をしたりする夫の態度に「仕事のストレスがたたくさんあるんだろかな」と思いながらも、次第にAさんは夫がいつ怒り出すか不安になり、自分の正直な気持ちを伝えられなく

事例2

Bさんは20歳の大学生。8歳年上の社会人の男性と交際しています。交際当初は優しく、同年代の友人よ

り大人な対応をする彼を、Bさんはとても尊敬していました。しかし交際を続けていくうちに、彼はBさんの友人関係を制限したり、外出先で気に入らないことがあるとBさんの前で店員を罵倒したり、Bさんに対しても当たり散らすようになり、Bさんは彼と話し合いをしようと試みましたが、「お前は社会に出たことがないからわからないんだ」「俺の言うことを聞いていれよ」「俺を不快にさせたお前が悪い」等と言われてしまい、どうしたらよいか分からなくなってきました。Bさんは次第に彼と過ごす時間を苦痛に感じ始め、別れを切り出そうと思いましたが、以前「俺は昔、悪い人たちが付き合っていた。別れるなら、お前やお前の周りの人がどうなるかわからないぞ」と脅されていたことを思い出して、別れを切り出せなくなっていました。心を許せる友人に彼のことを相談し、「それはおかしい。相談した方がよい」と説得され、Bさんは勇気を出して相談機関に電話をしました。

「相談に繋がって」

彼との出来事を相談員と話し合い、彼が知っていることは、デートDVであること、彼との交際は終わりにしたいという思いが強くなり、相談員と安全計画を練った上で、無事に彼と別れることが出来ました。しかし、別れたあともフラッシュバックなどの精神的につらくなる症状が時々起こり、病院を受診しながら相談を継続しています。

事例3

30代のCさんは、妻と2歳のこともと3人暮らしです。交際時から、

妻はCさんに対してきつい物言いをすることがありましたが、Cさんも言い返していたので大きな問題にはなりません。しかし、妻が出産後に産後うつになったことをきっかけに、Cさんに対して頻りに「カス」「クズ」「父親失格」などの暴言を言うようになり、Cさんが言い返すと、妻はCさんの腕を強く叩いたり、つねったりする等の暴力が始められました。産後うつの影響が大きいとはいえ、頻りに罵られたり、腕を強く叩かれたりすることが辛くなったCさんは、男性DV電話相談に相談しました。



「相談に繋がって」

Cさんは相談員「出産後から妻がすごく落ち込んだり、激しく怒ったりするようなことが起きはじめました。妻は産後うつの治療を受けていますが、治療の経過については聞いていません。喧嘩になると自分も手を出してしまいそうになります」と話しました。相談員は、産後うつの妻を支えてきたCさんを労った上で、一度妻の受診に付き添って、現在の妻の状態を確認することを提案しました。そして、たとえ産後うつであったとしても、暴言や暴力を許容する必要はないことを伝え、Cさんがどのように自分を守っていけるかを話し合いました。



「これでもしかしてDVかな?」「モヤモヤするな」と感じた時に誰かに打ち明けるのはとても勇気がいることです。それでも、話すことで解決の糸口につながる可能性があります。悩みや不安をひとり抱えず、いつでも専門機関にご相談ください。相談は無料、秘密は必ず守られます。

配偶者や恋人、パートナーからのDVチェックリスト

身体的暴力

- 平手でたたく
- 蹴る
- 髪の毛を引っ張る
- ものを投げつける
- 腕をねじ上げる
- 首を絞める
- 引きずりまわす

精神的暴力

- 大声で怒鳴る
- 自分の思い通りにならないと、不機嫌になる
- 無視する
- 自分の失敗や様々な問題を、あなたのせいにする
- 何時間も説教し、眠らせない
- あなたが実家に行くことや、友だちに会うことを許さない
- 見下したり、人格を否定したりすることを使う
- 「自殺する」と脅す

経済的暴力

- 必要な額の生活費を渡さない
- 出費を細かくチェックする
- 家の財産を知らせない
- あなたの名義で借金をさせる

性的暴力

- 性行為を強要する
- 避妊に協力しない
- 中絶を強要する
- 無理やり性的な映像を見せる

江東区の相談窓口

江東区女性のなやみとDVホットライン ※面接相談(保育あり)は要予約
☎3647-9551 月~土(9:00~17:00) 木のみ20:00まで ※祝日・年末年始を除く
男性DV電話相談 ☎3647-1171 毎月第1木曜日(16:00~20:00)

江東区女性のための法律相談(要予約) ※祝日・年末年始を除く
☎5683-0341(男女共同参画推進センター) 第1~3水曜日(13:00~16:00)
保育あり(1歳以上未就学児要事前予約)/女性弁護士が法律的な問題にアドバイスします。

LGBT等相談 電話相談 毎月第3木曜日 17:00~20:00 ☎3647-1171
面接相談(要予約) 毎月第2火曜日 17:00~20:00
※面接相談予約専用 ☎0587010@city.koto.lg.jp
☎3647-1163

保護第一課(深川地区及び東砂6~8丁目、南砂、新砂、海の森にお住まいの方)
☎3645-3106 月~金(9:00~17:00) ※祝日・年末年始を除く

保護第二課(亀戸、大島、北砂、東砂1~5丁目、新木場、夢の島、若洲にお住まいの方)
☎3637-2707 月~金(9:00~17:00) ※祝日・年末年始を除く

他機関の相談窓口

- 性暴力救済ダイヤルNaNa(SARC東京) ☎5577-3899 (24時間365日)
東京都性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援
- 東京ウィメンズプラザ DV専用 ☎5467-1721 年末年始以外毎日(9:00~21:00)
男性相談 ☎3400-5313 祝日・年末年始を除いた月・水・木(17:00~20:00)、土(14:00~17:00)

DV相談+(プラス) ☎0120-279-889(24時間)
メール(24時間受付)、チャット(12:00~22:00)あり。チャットは多言語対応。

■ 夜間・緊急時 ■ 警察(事件発生時) 110番

サイバー犯罪被害相談窓口

- 警視庁 サイバー犯罪対策課 ☎5805-1731 土・日・祝日・年末年始を除く(8:30~17:15)
- 違法・有害情報の通報先 セーフライン ☎1125 https://www.safe-line.jp
- リベンジポルノ被害にあわれたら ☎1125 https://www.safe-line.jp/against-rvp

